

2 金融や経済の仕組みに関する分野

分野目標 (学習評価における4つの観点(P.44) の注)を参考に設定しています。)	年齢層別目標			年齢層別目標			
	小学生	中学生	高校生	中学生	高校生		
	低学年	中学年	高学年				
A お金や金融の働き	お金の働きや役割を理解する	○ものはサービスを購入するとき、お金を払う必要があることを理解し、実際にものやサービスを購入する ○硬貨と紙幣の違いに気付く	○お金は貯めて将来使うことを理解する	○暮らしを通じてお金の様々な働きを理解する		○お金の役割を理解する(社会<公民的分野>)	○貨幣の機能を理解する ○電子マネー、地域通貨等について理解する(公民、家庭、商業)
	金融機関の役割、中央銀行の機能について理解する		○銀行にお金を預けると利息がつくことを理解する	○預金、貸出等の銀行の基本的機能について理解する		○金融機関の種類と機能について理解する(社会<公民的分野>) ○間接金融、直接金融の仕組みについて理解する(社会<公民的分野>) ○中央銀行の機能について理解する ○様々な決済の仕組みと方法について理解する(社会<公民的分野>) ○各種カードの種類、機能、仕組みを理解する(社会<公民的分野>、技術・家庭<家庭分野>)	○決済機能の多様化について理解する(商業) ○金融の仕組みと働きについて、間接金融や直接金融の意義を含めて理解する(公民、商業) ○中央銀行の機能について理解を深める(公民、商業)
	金利の働きについて理解する						○金利の機能と変動の理由について理解する(公民、商業)
B 金融や経済の仕組みに関する分野	ものやお金の流れと家計、企業、政府等の役割について理解する		○地域の生産活動を調査し、ものやお金の動きを理解する(社会) ○農家や工場、商店の働きや役割を理解する(社会)	○家計、企業、政府、銀行の間のものやお金のやりとりについて理解する ○農業や工業で働く人々の工夫や努力について、価格や費用を含めて理解する(社会)		○家計、企業、金融機関、政府、海外の間のものやお金の流れを理解する(社会<公民的分野>) ○株式会社の機能と役割、社会的責任について、模擬企業づくりなどを通じて実践的に理解する(社会<公民的分野>) ○企業が行う様々な資金調達方法について理解する(社会<公民的分野>) ○個人が投資をすることが、結果として企業の経済活動を支える意味をもつことを理解する ○企業は調達した資金で設備投資を行っていることを理解する	○家計、企業、金融機関、政府、海外の間のもの、お金、人の全体的な流れについて理解する(公民、商業) ○企業の成立、存在意義、社会的機能について理解する(公民、商業)
		市場の働きや機能を知り、市場経済の意義を理解する	○ものとお金は交換されることを知る	○消費者がものの値段を一つの目安として購入することを踏まえ、販売の仕事をする人は値段の付け方を工夫していることを理解する(社会) ○栽培したものや製作したものの値段の決め方を理解する	○ものの値段が変わることを理解する		○市場経済において価格が希少資源を効率よく配分する働きをもつことを理解する(社会<公民的分野>)
	産業の発展と海外経済との関係について理解する			○海外との間のものやお金のやりとりについて理解する(社会)		○円高・円安の意味と人々の生活への影響を理解する	○貿易、外国為替などの知識をもとに、経済のグローバル化について理解する(公民、商業)

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指針の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

資料

資料

36

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指針の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

資料

資料

37

2 金融や経済の仕組みに関する分野 (つづき)

分野目標 (学習評価における4つの観点(P.44) の注)を参考に設定しています。)	年齢層別目標			年齢層別目標			
	低学年	小学生		中学生	高校生		
		中学年	高学年				
B 金融や経済の仕組みに関する分野	ウ 経済変動と経済政策	景気の変動と物価、金利、株価等の関係を理解する			<ul style="list-style-type: none"> ○景気や物価の変動が人々の生活に影響を及ぼすことを理解する(社会<歴史的分野>) ○現実の経済の動きと経済指標の関係を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○景気変動の要因と個人の生活への影響について理解する(公民、商業) ○インフレ、デフレの意味と暮らしへの影響について理解する(公民、商業) 	
		中央銀行の金融政策について理解する			<ul style="list-style-type: none"> ○中央銀行が行う金融政策について理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○中央銀行の金融政策についてその手段や狙いを理解する(公民、商業) 	
		政府の役割について理解する	<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設などの利用にはお金が必要となることに気付く 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会を支えている様々な公共活動とそれに必要なお金について理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○税金の主な種類とその意義、ならびに納税が国民の義務であることを理解する(社会) 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会保障や公共サービスなど、政府の経済活動の意義について理解する(社会<公民的分野>) ○租税の意義と役割、国民の納税の義務について理解する(社会<公民的分野>) ○経済活動に対する規制および規制緩和の意義について理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○財政政策の目的を理解する(公民、商業) ○租税を中心とした公的負担の意義と必要性、国民の納税の義務について理解する(公民) ○政府が経済的自由の保障、効率と公正の確保、成長と安定の追求などを旨として経済政策を行っていることを理解する(公民)
		景気変動や経済政策と自分の暮らしや社会との関係を理解する		<ul style="list-style-type: none"> ○地域の生産活動と自分の暮らしとの関係を理解する(社会) 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の生産や販売活動の変化が暮らしや社会に与える影響を理解する(社会) 	<ul style="list-style-type: none"> ○政府の経済政策と暮らしとの関係について理解する(社会<公民的分野>) 	<ul style="list-style-type: none"> ○政府や中央銀行の経済政策と暮らしとの関係について理解する(公民、商業) ○政府の経済政策と財政赤字の関係について理解する(公民、商業)
エ 経済社会の諸課題	経済社会が抱える問題について幅広く関心をもち、情報収集の技能を身に付ける			<ul style="list-style-type: none"> ○新聞などのメディアから経済社会に関する情報を得る習慣を身に付ける(社会<公民的分野>) ○経済社会の課題について幅広く関心をもち(社会<公民的分野>) ○少子高齢化やグローバル化、情報化の進展に伴う経済にかかわる問題について関心をもち(社会<公民的分野>、技術・家庭<家庭分野>) 	<ul style="list-style-type: none"> ○現代の経済社会の課題について多面的・多角的に情報を収集し、整理することができる(公民) 		
	経済社会の課題解決に向けて合理的・主体的に考える態度を身に付ける			<ul style="list-style-type: none"> ○経済的な課題について自ら考える態度を身に付ける(社会<公民的分野>) 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題の解決に向けて、自ら合理的、主体的にかかわり考える態度を身に付ける(公民) ○経済社会の課題解決に向けて、政府が行うべき施策について自ら考える態度を身に付ける(公民) ○政府の財政赤字の問題を考える(公民) 		

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指針等の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

資料

資料

資料

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指針等の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

資料

資料

資料